

## アンケート結果からみるコロナ禍2年目と3年目の本学学生の学修状況

関西医療大学 IR推進室

本学では、国内における新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた2020年度（コロナ禍1年目）は、学生の登校を制限して遠隔授業に変更する方策で前期授業を開始しました。しかし、医療技術を修得する実習や演習科目に関しては、教育の質を維持して十分な成果を得ることの重要性を踏まえ、対面授業の割合を段階的に増加させていく方針を取りました。翌2021年度は緊急事態宣言に伴う期間限定的な遠隔授業への切り替えが生じましたが、感染防止策として学生と教職員対象のワクチン職域接種を実施しました。コロナ禍3年目となる2022年度については、年度当初からごく一部の授業を除き全学科で大部分を対面授業に戻しており、基本的な感染対策を講じつつ、コロナ前とほぼ同様の授業形式で教育を実施しています（2022年9月時点）。

この中において、本学では学部の全学生を対象にして、学生が自分自身の学修時間、学修態度、学修成果の実感等を回答する「学修に関するアンケート」を毎年度の前期に行い、調査結果を学生の個人面談の資料や学部・学科単位の学修状況把握のための資料として活用しています。

IR推進室では、授業形式が変更されたコロナ禍2年目から3年目にかけて、本学学生の学修状況にどのような変化がみられているかを検討するため、2021年度と2022年度の本アンケートの調査結果を学部ごとに学年単位で比較、分析し、得られた所見を学内に報告しました。

### 〔保健医療学部〕

学年	2021年度調査	vs	2022年度調査	2022年度学生の所見
1年	21年度入学生	>	22年度入学生	前年度同様、将来に対する興味は高い状態で入学したものの、授業の予習と授業内容の消化・吸収比率が低下傾向にあり、それに準じて授業外の平均勉強時間が減少傾向にある。
2年	20年度入学生	>	21年度入学生	前年度同様、将来に対する興味は高い状態を維持しつつ、授業の予習と授業内容の消化・吸収比率も同じ傾向にあるが、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。
3年	19年度入学生	>	20年度入学生	前年度同様、将来に対する興味は高い状態を維持しつつ、授業の予習と授業内容の消化・吸収比率も同じ傾向にあるが、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。
4年	18年度入学生	>	19年度入学生	前年度同様、将来に対する興味は高い状態を維持しつつ、授業の予習と授業内容の消化・吸収比率も同じ傾向にあるが、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。

< 総合所見 > コロナ禍3年目を迎えた2022年度の保健医療学部学生は、各学年とも毎日の勉強時間に45～135分をかけ、試験の準備や課題の完成に計画的に取り組んでいる。しかし、入学時は自らの将来に向けた興味や関心が高いものの、学年が上がるにつれて授業外の勉学に費やす時間が微減し、授業の消化・吸収の実感が落ちる傾向がある。授業外の勉強時間の短縮は対面授業の増加と関連する可能性があるが、高学年ほど将来に向けた興味や関心が下がる傾向が示唆される。

### 〔保健看護学部〕

学年	2021年度調査	vs	2022年度調査	2022年度学生の所見
1年	21年度入学生	<	22年度入学生	高いモチベーションを持って入学し、昨年と比べて授業の予習・復習も行い、授業内容が消化・吸収されているようであるが、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。
2年	20年度入学生	>	21年度入学生	前年度と比較して将来に対する興味は高い傾向を示すものの、計画性をもって予習・復習を行う比率が低下傾向にあり、それに従って授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。
3年	19年度入学生	><	20年度入学生	将来に対する興味は高い状態を維持しており、昨年と比較して授業の内容がよく消化・吸収されているようであるが、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。
4年	18年度入学生	><	19年度入学生	将来に対する興味は高い状態を維持しており、昨年と同様に計画性をもって予習・復習を行っているものの、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にある。

< 総合所見 > コロナ禍3年目を迎えた2022年度の保健看護学部学生は、各学年とも毎日の勉強時間に45～135分をかけ、試験の準備や課題の完成に計画的に取り組んでいる。また、自らの将来に向けた興味や関心が高い状態を維持している。対面授業の割合が増える中において、授業外の平均勉強時間は前年度に比べ減少傾向にあるものの、勉学に費やす時間は学年が上がるにつれて増加している。また、それに伴い授業の消化・吸収の実感が増加傾向にある。結果的に進級に伴い将来に向けた興味や関心を高い状態に維持し、向上できていることが示唆される。